

打出のごぶち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

9月19日の県議会一般質問において、来春の知事選挙に再選をめざして出馬することを表明した馳知事の政治姿勢について質問したところ、多様性を重視した県政運営を進める方針が示されました。

また、消防団員の確保策や兼六園周辺文化の森を核とした観光誘客について具体的に提案した結果、実現に向け前向きな答弁がありました。



県民の安心や地域の活力アップに向けて質問

知事の政治姿勢について

Q1 今後とも、多様性を重視した、誰一人取り残されることのない包摂的な石川県をめざしていく考えか。

A.すべての県民が尊重され、多様な価値観を認め合う社会の実現が、幸福度日本一の石川県につながると思え、多様性を重視した県政を進める方針である。

消防・救急体制の拡充について

Q1 これまで提案してきた#7119開設について、今回予算を計上するに至った経緯と期待する効果を聞く。

A.救急出動の増加や不搬送事案の増加により、救急体制の逼迫が進んでいることから、#7119の導入を決定した。軽症者や不要不急の出動を抑制する効果を期待しており、今後は市町や消防本部と連携して、周知と医療体制の充実を図る方針である。

Q2 消防団員の確保策として、法人事業税などの減税制度導入も検討すべきではないか。

A.消防団員の約7割は被雇用者であり、団員の確保や活動支援には企業の理解と協力が欠かせない。現在、消防団活動に協力的な事業所への知事感謝状の贈呈や、入札参加資格における加点制度を実施している。今後は、消防団員を雇用する企業がよりメリットを感じられるよう、法人事業税の減税なども含め、有効な支援策について検討会で議論を進めていく。

県立高校の魅力向上について

Q1 進路の変更や家庭の事情の変化、心身の健康上の理由など、一家転住を伴わない全日制県立高校間での転学者数を聞く。

A.昨年度、一家転住を伴わない理由での転学者は2名であった。教育委員会は、個々の状況に応じて情報提供や学校へのつなぎなど、丁寧な対応に努めている。

Q2 県教育委員会のウェブサイトにも、一家転住以外でも県立高校間で転学できることを明記すべきと考えるが、記載を改められない理由を聞く。

A.事情は生徒ごとに千差万別であり、安易な転学希望を助長する誤解を避けるため、「一家転住などの特別な事情がある場合」としている。学校現場では相談に応じ、個別対応している。

Q3 すべての全日制県立高校で、生徒・保護者が希望した場合、遠隔授業・通信教育を実施できるのか。

A.県内すべての県立高校で遠隔授業や通信教育の実施が可能となっている。学校の判断で希望者に説明し同意を得た上で、令和6年度は全日制38校のうち遠隔授業は24校、通信教育は2校で実施した。不登校生徒の学びの継続に向け、今後も適切に運用する方針である。





兼六園周辺文化の森を核とした 観光誘客について

Q1

旧県立図書館の新たな緑地整備とあわせ、兼六園周辺文化の森の回遊性を高めるため、県立美術館・国立工芸館と新たな緑地をつなぐ「美術の小径」周辺に、屋外エスカレーターもしくはエレベーターを設置してはどうか。

A. 提案は大変重要な視点と考えている。旧県立図書館や隣接施設の解体跡地の緑地化について検討を進めており、回遊性向上についても検討していく。

Q2

能楽堂や伝統産業工芸館について、速やかな耐震診断の実施に引き続き、観光誘客を促進するためにリニューアルを検討すべきと考えるがどうか。

A. 耐震診断の実施に向けて準備を進めており、診断結果を踏まえ施設のリニューアルについても検討する。

Q3

これまでも提案してきた兼六園周辺文化の森と小立野寺院群、県立図書館を結ぶ周遊ルート形成について進捗状況を聞く。また、金沢ふらっとバスの路線延長も有効であり、金沢市との連携強化が必要と考えるがどうか。

A. 周遊ルートはモデルコースとして整備し、県観光ホームページやガイドブックで情報発信している。バス路線延長については既存便との調整があるが、金沢市と連携して誘客の強化に取り組む。



まめだ簡易グラウンドの 人工芝化について

Q1

人工芝化の整備内容と今後の整備スケジュールを聞く。

A. まめだ簡易グラウンドは、サッカー場としての利用環境改善や多目的利用の観点から人工芝化を進めており、令和9年度中の供用開始を目指して実施設計を行っている。来年度の着工に向け、勾配の測量や他県のグラウンドを参考にした人工芝仕様の検討を進めている。

Q2

使用料の低減につながるネーミングライツの導入と場内広告の募集は、必要不可欠と考えるが、検討状況を聞く。

A. ネーミングライツや場内広告は、収入を施設維持管理費に充てることで利用料金の引き下げにつながると認識しており、県内外での導入事例を調査し、導入に向けて検討を進めている。



県議会一般質問の録画映像を
こちらで視聴することが可能です。▶
ぜひご覧ください。



〔解決事例〕

子育て・新婚世帯の 県営住宅入居要件を改善



子育て世代の方から、「出産を機に引っ越しを考えたが、県営住宅の入居要件が厳しく利用できなかった。子育て世帯や新婚世帯が入居できるよう改善できないか」との声が寄せられました。

こうした声を受け、1期目最後となる令和5年3月の予算委員会で、子育て世帯・新婚世帯への優遇措置の導入を提案しました。その結果、今年の当初議会で「石川県県営住宅条例」が改正されました。

お住まいの地域で
困ったことは
ございませんか？



条例改正から半年時点で、子育て世帯27世帯、若者夫婦世帯1世帯が県営住宅に入居されています。

これからも、誰もが安心して暮らせる居住環境づくりを進めていきます。



地域でお困りのこと、
お気軽にご連絡ください！



受付フォームはこちら